



豊かな自然環境を守りたい

- 3 これらの実現に向けて、すべて
- 2 「活力あふれる自立したまち」に向けて、各種産業の振興や育成、起業支援など、雇用の創出と循環型社会の構築に重点を置くこと。
- 1 「水」と「森」に代表される豊かな自然環境を守っていくことが、弟子屈町の基本姿勢であること。

I まちの将来像

水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち

第5次弟子屈町総合計画では、10年後のまちの将来像を「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」で表しました。この地域コンセプトは、大きく以下の3点を表現したものです。

基本構想の概要

平成22年度から取り組んできた第5次弟子屈町総合計画の基本構想と前期実行計画の最終答申案が、2月27日に開催された第4回の総合計画策定審議会で審議され、山崎幹根審議会委員長から町長へ答申されました。

同審議会では、平成22年9月に町長から諮問を受け、第5次総合計画について4回の会議を開催。まちづくり町民会議や町民の皆さんからいただいたアンケート、意見などをもとに、慎重な審議を重ねてきました。

町では、この答申を受けて、3月6日から開催された平成24年弟子屈町議会第1回定例会に総合計画の基本構想を提案。3月6日に議決されました。

水と森と人が共に輝き、
活力あふれる自立した
まちを目指して

第5次弟子屈町総合計画を策定

「人」が重要であり、「人」を育て「人」が関わり合うことで、水も森もそして「人」も輝くものがあること。

これからの10年間は、この地域コンセプトをまちづくりの核にして、地域コンセプトの理念を実現していくことにより、町民の皆さんが自信を持って、誰もが自慢し誇れるまちとなっていくと考えます。

併せて、この地域コンセプトを達成するためのこだわりを持った各種取り組みを持続的にを行い、また、町の行動規範として活用すること、他の地域と差別化した特色あるまちづくりを進め、それを町外にも戦略的に発信していきます。

II まちづくりの基本目標と基本手段

地域コンセプトの実現に向けて、これからの弟子屈町の10年の計画を考える4つのまちづくりの基本目標と、この基本目標を達成するための2つの基本手段を政策として設定します。

環

人と自然が共生するまちづくりを進めます。

弟子屈町は、町域の65%が国立公園区域内にあります。美しい湖や雄

大な景観、豊かな森林と水資源など豊かで恵まれた自然環境は、弟子屈町に与えられた宝であり、この自然環境を地域の資源として次世代へと残していくことと、健全に活用していくことは、地域の持続的な発展を目指す私たち町民の使命です。

この宝である自然環境を適正に保全・管理しつつ、健全な活用を組み合わせ、循環型の人と自然が共生するまちづくりを進めます。



活力あふれるまちに

活

まちに活力・活気・雇用を生み出すまちづくりを進めます。

弟子屈町の人口は、昭和35年にピークを迎えた後、減少が続いていまます。その主な要因は、全国的な少子高齢化の進行や都市部への流出があると考えられますが、町内に雇用の場が少ないことも大きく、高校や大学を出た後の就職先や働き盛り年代の定住希望者に対する雇用の受け皿を創出することなどで、まちに活力・活気を取り戻す取り組みが

暮

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

弟子屈町の持続的な発展の実現は、しっかりとした生活基盤が整い、町民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちがあつてこそそのものです。さまざまな施設や資源、人材などを活用して町民の生活のしやすさを追求していくことが求められています。

保健・医療・福祉の充実による生活の安心の確保、防犯・防災体制の充実による安全の確保、住宅・道路・公園・上下水道といった生活基盤の充実など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

必要です。弟子屈町の恵まれた資源を最大限に活用し、既存産業の育成や活性化、産業間の連携、起業支援など、まちに活力・活気・雇用を生み出すまちづくりを進めます。



教育の充実を

育

豊かな心を育て、文化を大切にするまちづくりを進めます。

人口減少、少子高齢化の中にあつて、弟子屈町の将来を担う子どもたちへの教育や文化・スポーツ活動など、町民の皆さんが知識や知恵、いきいきと健康な心を持って生活し、弟子屈町の文化的な魅力を高めることは、まちの活力にもつながっていきます。

学校教育や社会教育の充実、文化・スポーツ活動の推進など、豊かな心を育て、文化を大切にするまちづくりを進めます。

人

まちづくりに興味と関心を持ち行動する人を育てる仕組みをつくりま

まちづくりを進め、実行するのは人です。地域の魅力を高めるのも人次第といえます。

地域づくりの担い手の育成やまちづくりネットワークの活性化、人材活用など、まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みをつくりま

公

誰でもまちづくりに参加することができる場や体制をつくりま

これからのまちづくりは、行政と町民、企業、団体、自治会など多様な主体が情報を共有するなど、さまざまな垣根を越えた強い協力関係を



誰もがまちづくりに参加できるように

築いて、地域主権型社会に対応できる健全な地域経営を進めていくことが重要です。

的確な行財政基盤の構築と多様な主体の役割分担を検討し、誰でもまちづくりに参加することができ場や体制をつくりま

これら基本目標と基本手段にまちづくりの柱を設定し、まちづくりを推進していきます。

Ⅲ 構想期間・主要指標

基本構想の期間は、平成24年度から平成33年度までの10年間です。

また、主要指標の目標値として、次の3項目を設定しています。

1 人口と世帯数

▼10年後の目標値

- 人口 / 7千800人
- 世帯数 / 3千500世帯

平成22年実施の国勢調査と、10年前の平成12年とを比較すると1千215人の減少となっています。このまま推移すると、今から10年後には6千500人程度となることが見込まれます。

今回の総合計画における各種施策を実行することにより、人口減少を最小限に食い止めることを目標とします。

2 人口バランス

▼10年後の目標値

- 幼年者(15歳未満)人口比率 / 10%以上
- 高齢者(65歳以上)人口比率 / 35%未満

全国的な少子化高齢化の傾向は、今後も続くことが見込まれます。弟子屈町においても人口の推移に伴って、15歳未満の減少と65歳以上の増加は続くものと予測されます。

子育て支援や雇用環境の向上などにより、幼年者数の減少と生産年齢人口の減少を最小限に抑えることを目標とします。



子育て支援を充実

3 町民満足度の向上

▼10年後の目標値 / 60点

平成22年に実施した町民アンケート調査の結果によると「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と答えた率の合計が35.3%、「住みにくい」または「あまり住みよいとは言えない」と答えた率の合計は32.6%で拮抗(きつこう)しています。これを100点満点で数値化した場合、52点となります。

今後は、生活環境の向上や産業の振興、人的ネットワークの向上などに取り組んで「住みよい」と答える率を上げること、10年後は60点を目指します。

Ⅳ 重点プロジェクト

まちの将来像「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」の実現に向けて、10年間で取り組む戦略的な3つの重点プロジェクトを設定し、横断的な施策に取り組むことで、着実なまちづくりを推進します。

重点プロジェクト1

水と森と人がつくる
「地域活性化プロジェクト」

摩周湖や屈斜路湖をはじめとした豊かな自然環境などの地域資源を適正な保護と活用を目的としたゾーニングなどにより適切に保全



観光客にガイドを行う子どもたち



医療や福祉の充実を目指して

し、調和を図りながら健全な活用を進めます。

さらに、豊富な温泉・地熱などを利用した新エネルギーの活用や、基幹産業である農業と観光業の発展的な連携や特産品開発、そしてこれらの町外に向けた積極的な発信などを推進し、産業の活性化や新たな雇用の創出につなげ、まちの活力・活気を生み出します。

重点プロジェクト2

これからの弟子屈を担う
「人材育成プロジェクト」

豊かな自然環境や地球環境に正しい理解がある人材、地域活性化を支える農業や林業の担い手、地域の魅力や良さを町外や観光客に伝える案内できるガイドなど、さまざまな地域づくりの担い手の育成とそれ

らのネットワーク形成、仕組みづくりを推進するとともに、人口減少、少子高齢化が進展する中で、ふるさとでの弟子屈をよく知り、行動することができ、これからの弟子屈町を担う人材の育成を推進します。

重点プロジェクト3

弟子屈に暮らし続けることができる「安心生活プロジェクト」

安心できる医療・福祉や日々の生活における生きがいづくり、利便性が確保された買い物や日常生活交通の確保維持、高齢者や障がい者にとって暮らしやすい住宅づくりなどを推進します。さらに、弟子屈町で安心して子育てができるための基盤整備や防災対策の推進など、関連分野を幅広く横断する、総合的な定住対策を推進します。

総合計画の配布



山崎委員長(左)から答申を受け取る徳永町長

総合計画の各種施策の実行には、町民の皆さんや各関係機関の協力が不可欠です。

総合計画の冊子を作成し、各関係機関に配布します。また、ダイジェスト版も作成し、町民の皆さんへ全戸配布します。

▼前期実行計画の内容については、今後、広報でしかがお知らせしていきます。

□問い合わせ先 / 役場企画財政課
企画係 ☎ 482・2913 (課直通) まで。